

寄居駅南口駅前拠点施設設計業務公募型プロポーザル選定結果について

寄居駅南口駅前拠点施設設計業務を実施するにあたり、発注者の考えに柔軟に対応でき、創造性や高い技術力、豊富な経験を持った設計者を選定することを目的とし、公募型プロポーザルを実施した。

1. 業務名 寄居駅南口駅前拠点施設設計業務
2. 契約候補者 株式会社川辺直哉建築設計事務所
3. 提案書提出者（申込受付順）

株式会社川辺直哉建築設計事務所
細海拓也一級建築事務所
株式会社キノアーキテクト
株式会社アトリエ・アンド・アイ
合同会社住まい・まちづくりデザインワークス
小林一元建築設計室
UENOA・YY 設計共同体

4. 全提案者の評価点

審査結果	会社名	評価点数
受注候補者	株式会社川辺直哉建築設計事務所	680 点
次点受注候補者	UENOA・YY 設計共同体	676 点
—	A 社	672 点
—	B 社	662 点
—	C 社	657 点
—	D 社	653 点
—	E 社	628 点

(1, 000 点満点)

5. 審査講評

第一次審査では、参加表明書の提出のあった28者について、実施要領9(2)に記載の通り書類審査を行い、設計能力として、技術者、資格、実績などの資格審査及び、受賞実績に関する審査を行い、8者を提案書の提出要請者として選定した。

第二次審査では、提案書提出を辞退した1者を除く、7者から提出された実施設計方針と5つのテーマに対する提案書について、プレゼンテーション及び質疑を実施し、業務実施方針については業務への意欲、対応力及び技術力の観点から、技術提案書については的確性、工夫、独創性、実現性及び持続可能性の観点から評価するとともに、業務見積書評価を加え、選考委員会での審査を行った。

全体として、いずれの提案者も「町の顔」となる多機能な複合施設を実現するため、過去に同様の建物で優れた受賞実績を有していることもあり、非常に制限が多い中でも最大限の成果を得られるよう、豊富な経験と知識に基づいた提案となっており、どれも興味深く、たいへん質の高い提案内容であった。また、プレゼンテーション及び質疑についても円滑に行われ、いずれの提案者も真摯かつ意欲的な姿勢で、寄居町のための貴重な提案を示していただいた。

優先交渉権者として特定された「株式会社川辺直哉建築設計事務所」の提案は、寄居町の地域特性や周辺環境を分析したうえで、活力のある新しい寄居の風景を創出する提案として、高い評価を得た。ぐるぐるテラスと名付けられた提案は、多目的ホールを中心として、立体的な螺旋状の動線が特徴的であり、親しみやすさと適度な視線コントロールを意識した構成と、屋上から山並みや街並みを一望できるワクワク感のある提案として高い評価を集めた。また、防災やコスト、持続可能性の面でも、よく練られた説得力のある提案であった。

一方で、特徴的なスロープの安全面やメンテナンス性などについて指摘があった。

次点交渉権者として特定された「UENOA・YY設計共同体」の提案は、独創的な外観と構造でありながら、コストダウンと両立できるよう練られた点が高く評価された。

しかし、事務スペースのプライバシーや、斜に取られた構造材が2階スペースにあらわしとなることなどについての指摘があり、優先交渉権者との評価の差となった。

6. 寄居駅南口駅前拠点施設設計業務公募型プロポーザル選定委員会委員及び選定理由

所属（人数）	選任理由
副町長 町関係課長 計10名	適正かつ適切な選定のための識見を有し、拠点施設に関わりの深い者及び多角的な視点で選考することのできる者を選定した。